

# 地域資産創出委員会 事業計画

---

委員長 皆 葉 守

つくば市の代表的なヘリテージである「紫峰筑波山」は季節によって色を変え、四季折々の風景の移り変わりを訪れる人たちに観せてくれます。年々観光客も増え、更なる地域の大きな財政基盤を生み出す絶好の機会となります。その機会を最大限活かすためには地域共働による観光地域づくりや情報の発信により地元特有の伝統や文化、そして産業を訪れる方々に知ってもらおうと共に、地域に対する愛をより深めてもらうことが必要です。

まずは、筑波山周辺地域の観光促進・健康増進に貢献してきた事業である「ツール・ド・つくば」を本年も開催いたします。そして今後筑波山をどのように活用するか、どのように外へ発信したら効果的かを地域の皆様と共に考え、筑波山の価値をどのように高めていくか共通認識を持ち、地域愛を創出します。そして、「ツール・ド・つくば」は昨年10周年を迎え、今までの事業活動を活かしていきながらも、新たな可能性を持って推し進めていくことが求められており、事業移管を含めたスキーム・運営組織体の再構築を行ってまいります。さらに今年は「いきいき茨城ゆめ国体」において、つくば市では自転車ロードレース等が開催されます。選手や市民の方々・未来の子供たちはじめ、国体に参加するすべての人々が、活気に満ちたいきいきと活躍できる夢のあるスポーツの祭典となるよう事業連携し、あわせて「ツール・ド・つくば」のさらなる可能性を見出していくことにより、筑波山の魅力を広域に発信していきます。そして、地域の方々に共感頂けるように事業活動を洗練し、筑波山を含めた地域資産の創出と活用の推進協力を行っていきます。

地域の方々と共働することで共通認識を高めて地域愛を創出することとなり、新たなまちづくりの可能性見据えた地域の資産価値、ローカルアイデンティティの確立されたつくばが地域の人々と共に創られ、新しいつくばの魅力がさらに広がるのです。

## 職務分掌

1. ツール・ド・つくば2019の開催
2. ツール・ド・つくば事業移管を含めたスキーム・運営組織体の再構築
3. いきいき茨城ゆめ国体事業連携
4. 地域資産の創出と活用の推進協力